

▶▶▶ 熊野古道プロジェクト

# 熊野街道(古道)の歴史・文化的な価値を検証し、新たな観光商品を開発する

▶ プロジェクトメンバー

- 小川 雅則 (紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus)
- 吉村 旭輝 (紀州経済史文化史研究所)
- プロガノ・リカルド・ニコラス (国際観光学研究センター)

○はプロジェクト代表

▶ 共創相手

- 株式会社日本ユニスト
- 合同会社旋律デザイン研究所

プロジェクトの背景

熊野街道(古道)は、摂津国渡辺津(窪津：国府津・高津・楼津ともいう。大阪市中央区天満橋付近)を起点に熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)への参詣に利用された街道の総称である。

渡辺津から田辺間を「紀伊路」と呼び、田辺から熊野三山までを「中辺路」と呼んでいる。「中辺路」は、ユネスコの世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として登録されている。(2004年7月登録)

この大阪府と和歌山県を結ぶ熊野街道(古道)のうち、和歌山県田辺市から新宮市、那智勝浦町へと続く主に山間部を通る「中辺路」ルートは、神々が隠れ籠る独自の聖域をなし、古来「熊野」と総称され、深奥な歴史・文化・自然に惹かれ国内外から多くの来訪者がある。一方、渡辺津から紀伊田辺間の「紀伊路」ルートは、大阪と和歌山に跨るルートで、観光資産としての価値を十分に活用できているとは言い難く、地域全体の経済を活性化するまでには至っていない。

プロジェクトの目的

このプロジェクトは、古き良き地域文化を継承しつつ、新たな熊野街道(古道)の価値を見出すことで、地域文化の継承と、地域経済の活性化に繋げていこうとするものである。

具体的には、次の3点である。

1. 熊野街道(古道)沿いにかつてあった、王子を調査し、新しい宿場町をルート上に形成し、「紀伊路」～「中辺路」間を歩き通せるモデルコースを開発する。
2. 熊野街道(古道)を歩いた巡礼者が、かつて食べていた地域の「食文化」を調査し、歴史・文化に基づき新たな「熊野街道(古道)めし」を開発する。
3. 街道(古道)沿いの各地域の伝統芸能、祭、文化を調査し、新たな体験プログラムを開発する。

プロジェクトの活動内容

1. 祭礼調査  
熊野街道(古道)沿いの祭礼について、各王子社近隣の寺社仏閣の祭礼を調査。
2. 現地調査  
熊野街道(古道)の起点にあたる、大阪市中央区天満橋付近にある第一王子窪津王子から熊野本宮大社までの間を実際に歩き、街道(古道)のルート確認、案内看板・休憩所・トイレの状況、かつての宿場町の様子、周辺の神社仏閣、地域の祭、食事場所などの調査。
  - 1) 2022年3月29日～30日  
紀伊路(大阪市窪津王子～堺市境王子間)
  - 2) 2022年9月14日～15日

- 中辺路（田辺市滝尻王子～熊野本宮大社間）
- 3) 2022年10月11日  
紀伊路（和歌山市山口王子～伊太祈曾神社間）
  - 4) 2022年10月23日～24日  
紀伊路（有田市糸我王子～日高町高家王子間）
  - 5) 2022年12月27日～28日  
紀伊路（堺市大鳥大社～泉佐野市佐野王子間）
  - 6) 2023年1月4日～1月12日  
紀伊路（大阪市窪津王子）～中辺路（不寝王子）間



### 3. アンケート調査

熊野街道（古道）の価値研究の一環として、熊野街道（古道）沿いにはどのような「まち（地域）」が連なっており、どのような「祭」が存在するかを主眼におき、「熊野街道（古道）」の全体印象をとらえる趣旨で、地元調査を実施。

分析手法は、印象を数値化・類型化する解析モデル＝Belief Finderモデルによる。

調査した「まち（地域）」は、熊野街道（古道）のうち、「紀伊路」とし、次の17市町を対象とした。

- 1) 調査期間 2022年7月～8月
- 2) 調査市町  
大阪市、堺市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、和歌山市、海南市、有田市、湯浅町、広川町、日高町、御坊市、印南町、みなべ町
- 3) 調査協力依頼先  
各市町観光振興担当部署、観光協会、ボランティア協会、和歌山県各振興局、大阪観光局など
- 4) 結果報告会  
①2023年3月10日 和歌山エリア対象

②2023年3月16日 大阪エリア対象

### 4. 比較調査

街道（古道）の比較調査として江戸幕府の公道にあたる五街道のひとつとして、江戸時代初期に整備され、東京都日本橋を起点とし、栃木県日光市を結ぶ日光街道の調査を行った。

この調査では、日光街道の観光活用の現状を把握し、熊野街道（古道）の今後のあり方の参考とする。

2023年3月5日～8日

日光街道（栃木県宇都宮宿～日光間）



### プロジェクトの成果

本プロジェクトは、株式会社日本ユニストと複数年にわたる共同研究として取り組みを始めたところである。今年度は、主に熊野街道（古道）の祭礼調査、現地調査、アンケート調査、比較調査と基礎的なデータ収集に努めた。

次年度以降は、今年度の成果をもとに、モデルコースの開発、熊野街道（古道）めしの開発、体験プログラムの開発に繋げる。

プロジェクトに関するお問い合わせ

価値共創オフィス

E-mail : region@ml.wakayama-u.ac.jp

URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/projects/kumanokodo/index.html>

